

# 株主のみなさまへ

## 2025年度報告書

2025.04.01 > 2026.03.31

**トピックス 1** 半導体市場の成長を見据えて

**トピックス 2** NGKの技術がIoTをさらに加速させる

**トピックス 3** 2050年CO<sub>2</sub>排出ネットゼロを目指すNGK

## ● Top Message ●

株主のみなさまには平素から格別のご高配を賜り、  
厚くお礼申し上げます。  
当社グループの2025年度連結累計期間の事業概況を謹んでご報告  
申し上げます。

代表取締役社長 小林 茂

### Q 2025年度の業績について教えてください。

A 売上高、営業利益、経常利益は過去最高を大幅に更新しました。  
NAS®電池の製造及び販売活動終了に係る特別損失を計上するも、当期純利益  
も増益となりました。

エンバイロメント事業においては、上期の米国の関税引き上げを見越した駆け込み需要に加え、下期も堅調な需要が継続し増収。利益は、DAC（Direct Air Capture）等カーボンニュートラル製品の開発費負担もあり小幅な増加となりました。また、デジタルソサエティ事業においても、AI用途の半導体需要の増加や一部客先の在庫積み増しにより半導体製造装置用製品に対する需要が拡大し、増収・増益となりました。エネルギー＆インダストリー事業では、がいしの国内外の需要は堅調に推移した一方で、エナジーストレージはNAS®電池の製造、販売活動の終了を2025年10月に意思決定し、それに係る事業構造改革費用200億円を特別損失として計上しております。また、特別利益として政策保有株式の縮減を進め、投資有価証券売却益132億円を計上しました。

### Q 2026年度の見通しについて教えてください。

A デジタルソサエティ事業の成長が牽引し、売上高7,100億円、営業利益  
1,070億円といずれも過去最高を更新する見込みです。

エンバイロメント事業においては、緩やかなEV化の進展は見込まれるものの、高付加価値品へのシフトも進み、増収の見通しですが、開発費用の増加等を見込んでおり営業利益は横這いとなる予想です。デジタルソサエティ事業ではAI需要を背景に、半導体製造装置市場の拡大は加速度的に進展しております。当社は前工程から実装まで、半導体製造プロセスを支える複数の製品を展開しており、市場の需要を確実に取り込んで増収増益の見通しです。なお、中東情勢の影響として、原油価格の高騰に伴うエネルギー価格の上昇で見込まれるコスト増として20億円を各事業の業績見通しに反映しております。



## Q 配当について教えてください。

A 期末配当金は当初予想から4円増配の42円（通期80円）、来期は前期比26円増配の年間106円を予定しております。

足元での業況も底堅く推移していることから、当期の配当金は、1株当たり期末配当金を42円とし、すでに実施済みの中間配当金38円と合わせて、通期では1株当たり80円とさせていただく予定です。2027年3月期の年間配当は26円増配の106円を予定しております。

## Q 株主のみなさまへメッセージをお願いします。

A 当社は2026年4月に「NGK株式会社」へ社名変更し、同年5月には長期経営計画2026-2035を発表しました。

NGKグループ一体となって、社会に新しい価値を提供すべく新製品や新規事業の創出に取り組むとともに、世界中のステークホルダーとのエンゲージメントを高め、「NGK」をこれまで以上のグローバルブランドへと成長させていきます。長期経営計画では、既存事業の収益力を高め、デジタル社会領域での成長牽引とカーボンニュートラルの布石を打ち、飛躍するNGKグループを目指します。

[長期経営計画の詳細はこちら](#)

## 業績ハイライト

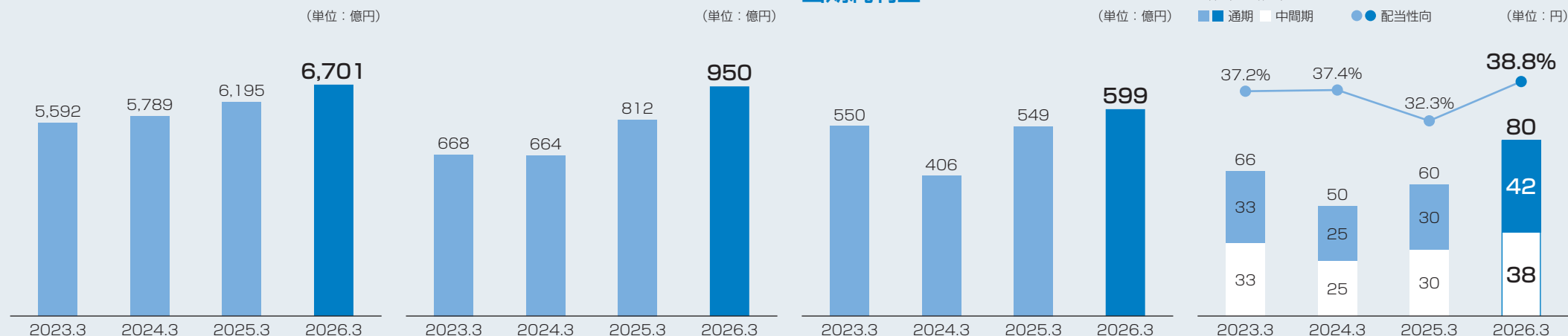
[詳細はこちら](#)

### 売上高

### 営業利益

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

### 1株当たり配当金／配当性向





## セグメント別概況

### デジタルソサエティ事業

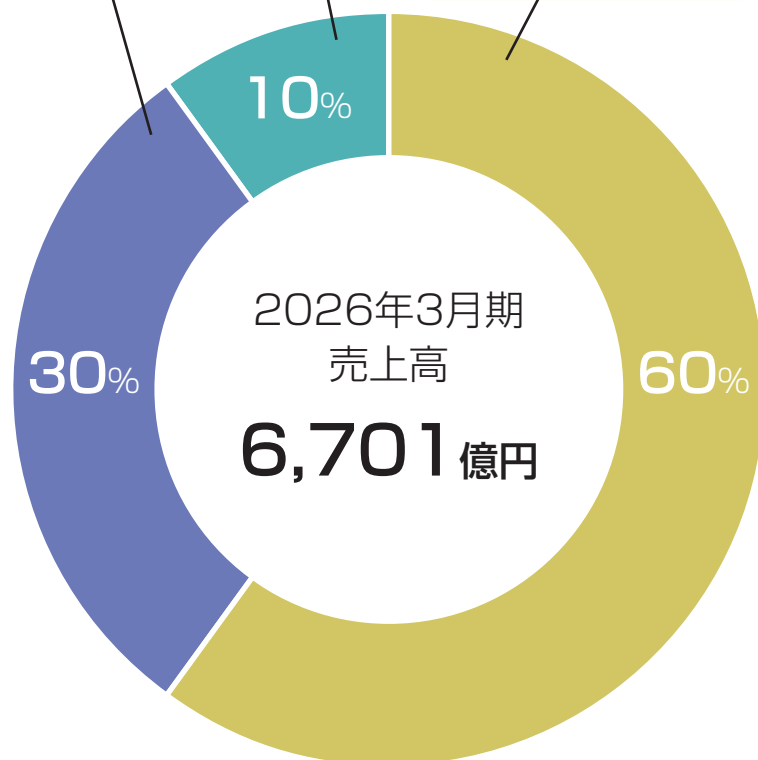
2,054億円

### エネルギー&インダストリー事業

659億円

### エンバイロメント事業

4,014億円



※上記売上高はセグメント間の内部売上高・振替高を含んでおります。

## エンバイロメント事業

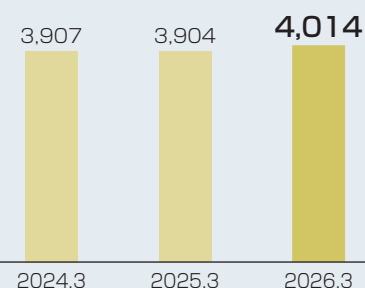


自動車、化学、医療、食品、原子力など幅広い分野の環境課題を解決し、より豊かな社会の発展に資する製品の開発・製造

### 売上高

4,014億円

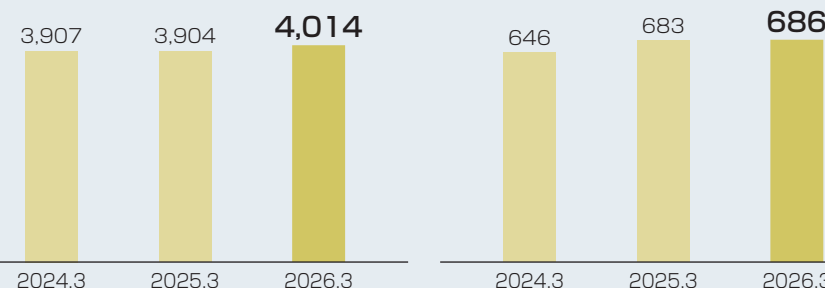
(単位：億円)



### 営業利益

686億円

(単位：億円)



### ポイント解説

自動車関連製品において、上期の米国の関税率引き上げを見越した駆け込み需要に加え、下期も需要が堅調に推移したほか、関税率や貴金属価格の上昇に対する販売価格への反映が進んだことから増収となりました。

営業利益は、売上高増加の一方でDAC（Direct Air Capture：直接空気回収）やサブリナセラミック膜といったカーボンニュートラル領域の研究開発費用が増加したことなどから前期比0.5%増の686億17百万円となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高1,973百万円を含んでおります。

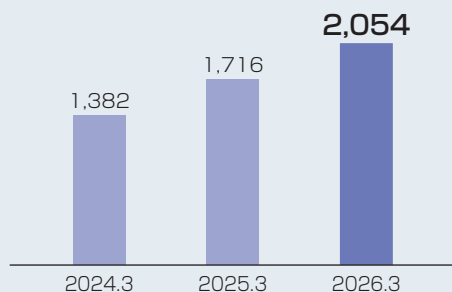
## デジタルソサエティ事業



IoTやAI（人工知能）の進展、エレクトロニクス製品の高度化や小型・軽量化などに貢献する製品の開発・製造

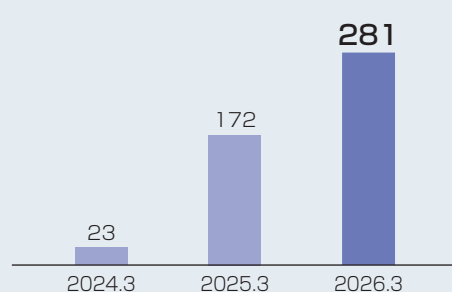
売上高  
2,054億円

(単位：億円)



営業利益  
281億円

(単位：億円)



### ポイント解説

AI用途の半導体需要が増加したことに加え、一部顧客の在庫積み増しもあり半導体製造装置用製品の需要が増加しました。また、旺盛なデータセンター投資が継続したことにより、ハードディスクドライブ（HDD）用圧電マイクロアクチュエーターの出荷も堅調に推移したことなどから、セグメント合計でも増収となりました。営業利益は、半導体製造装置用製品の売上高増加が牽引し前期比63.5%増の281億5百万円となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高6百万円を含んでおります。

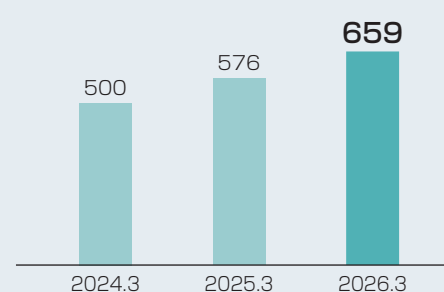
## エネルギー&インダストリー事業



エネルギーの安定供給を支え、社会を実現する製品の開発・製造

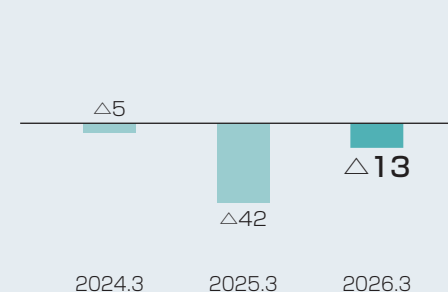
売上高  
659億円

(単位：億円)



営業損失  
△13億円

(単位：億円)



### ポイント解説

米国のデータセンター投資や国内の電力インフラ更新投資等によりがいしの需要が底堅く堅調に推移したこと等により増収となりました。営業損失は、がいしが堅調であった一方で、2025年10月に製造及び販売活動の終了を決定したNAS®電池の赤字により、13億22百万円の営業損失となりました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高または振替高660百万円を含んでおります。

## 半導体市場の成長を見据えて 石川県能美市に新生産拠点の設立を決定

半導体市場は、モバイル機器向けに加え生成AIの普及やデータセンターの拡張などを背景に、今後も中長期的な成長が見込まれています。当社は、製品の旺盛な需要に対応するため石川県能美市に半導体製造装置用セラミックスの新たな生産拠点を設立することを決定しました。

### 新工場の概要



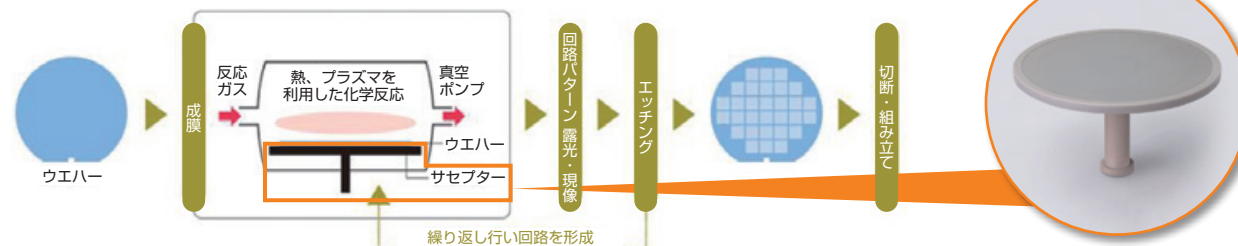
石川新工場のイメージ

名称	NGKセラミックデバイス株式会社 石川工場
所在地	石川県能美市
敷地面積	約104,000平方メートル
延床面積	約51,000平方メートル
設備投資額	約700億円
着工	2027年4月
生産開始	2029年10月
従業員数	生産開始時 約150人（フル生産時 約250人）

### サセプターとは？

新工場で生産するのは、半導体製造装置の内部で半導体材料のシリコンウエハーを支持するセラミック製の機能部品（サセプター）です。

半導体の製造プロセスの例（成膜）



サセプター（製品の一例）

- NGKグループの半導体製造装置用セラミックスの生産能力を約20%増強
- BCP（事業継続計画）の観点からも、供給体制の強靱化を図る重要な拠点となる

NGKグループは、2050年の未来を見据えた中長期ビジョン「NGKグループビジョン Road to 2050」で、カーボンニュートラルとデジタル社会分野への事業構成転換を目指しています。

特に、半導体関連分野は当社の今後の成長を牽引するビジネスの中核と位置づけており、引き続き技術開発と設備投資を通じて、半導体産業の発展に貢献するとともに、デジタル社会の実現を目指していきます。



詳細はこちら

# NGKの技術がIoTをさらに加速させる 超薄型・小型リチウムイオン二次電池「EnerCera®（エナセラ）」

## 「EnerCera®」とは？

「EnerCera®」は超薄型・小型で、『高出力』『高耐熱』『高容量』『長寿命』を備えたリチウムイオン二次電池です。



## —「EnerCera®」の特性—



## ココがスゴイ！

### 技術評価

#### 1. 国際アワードのファイナリストに選出

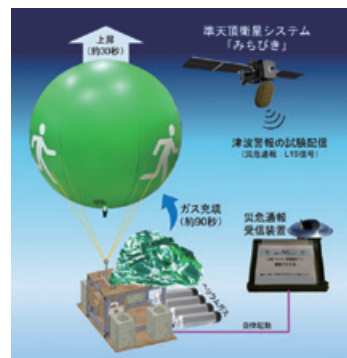
当社社員である鈴木千織が国際的な賞「Women Leaders in Electronics Awards 2026」でファイナリストに選出されました。グローバルな事業推進力、包摂的なリーダーシップ、そしてイノベーション創出への貢献が高く評価されたものです。

[詳細はこちら](#)

### 社会貢献性

#### 2. 新たな防災システムの構築に貢献

本プロジェクトは、津波発生時にバルーン型避難標識を自動で掲揚し、上空から津波避難施設の所在地を直感的に示す新たな防災システムの構築を目指す取り組みで、当社の「EnerCera®」は、バルーンにおける光源部の電源を担い、夜間や視界の悪い状況でも避難場所を明確に示す仕組みを実現します。

[詳細はこちら](#)

### 新市場への展開

#### 3. アクリルスタンド用台座の開発

「EnerCera®」を搭載したLED・音声機能内蔵のアクリルスタンド用台座「EnerCerLight® STAGE（エナセラライト ステージ）」を開発しました。薄型・軽量で発熱・発火リスクの低い安全な二次電池を活用して、需要拡大が見込まれるエンタメ市場に本格参入します。

[詳細はこちら](#)



# 2050年CO<sub>2</sub>排出ネットゼロを目指すNGK 水素燃焼による量産技術確立に成功！

当社では、事業活動（スコープ1）による年間約20万トンのCO<sub>2</sub>を削減することで、2050年CO<sub>2</sub>排出ネットゼロを目指しています。目標実現のため、2023年6月から進めていた水素を燃料とする焼成炉の実用化に向けた実証試験の結果、自社製品の量産技術の確立に成功しました。

## 水素の特徴

- 燃焼時にCO<sub>2</sub>を出さないクリーンな燃料
- 火炎温度が高く燃焼速度が速い

	水素	メタン
火炎温度（℃）	2,045	1,875
燃焼速度（m/s）	2.65	0.4
着火エネルギー（mJ）	0.02	0.28

## ！ 水素燃焼の課題

セラミックス製品の製造では、  
焼成炉内の温度分布が性能や品質に  
大きく影響するため  
これまで実用化がされていなかった

水素燃焼に最適化された  
専用設備の開発が必要

## NGKが独自開発！

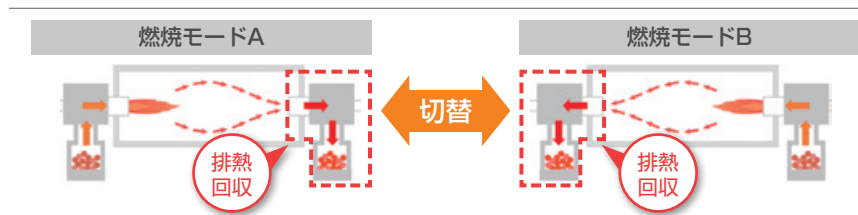
水素を燃料としてセラミックスを焼成可能な『リジェネレイティブバーナー』を新たに開発し、自社量産製品の性能・品質を確保した水素燃焼を実現しました。

## リジェネレイティブバーナーとは

蓄熱体を有した2基のバーナーを一对として、燃焼と排気を交互に切り替えて使用する装置です。燃焼時に排出される高温のガスを通過させて蓄熱体を加熱し、排熱回収します。



リジェネレイティブバーナー外観



## リジェネレイティブバーナーで焼成するNGKの製品



ハニセラム®



ガソリン・パティキュレート・  
フィルター（GPF）



詳細はこちら



# 2026年4月1日、日本ガイシは社名を NGKに変更しました。

当社Webサイトではメイキング映像や  
インタビューを期間限定で公開中です



NGKは変わる。

ここにいる一人ひとりが変わる。

その変化の積み重ねで、世界をつくり変えていく。

原動力は、セラミック技術。

これまでもたくさんの困難を乗り越えてきた。

でもまだ、山ほどの課題が残っている。

技術の限界を疑い、自分たちの限界も疑い続けよう。

カーボンニュートラルも、デジタル社会も、

誰かがつくってくれる未来じゃない。

私たちが、自分たちの手でつくりに行く未来だ。

さあ今日も、目の前のひとつを変えていこう。

日本ガイシは  
NGKへ

なんでも技術で  
変えていく



## 会社概要

[詳細はこちら ▶](#)

商 号 NGK株式会社/NGK Corporation

設 立 1919年5月5日

資 本 金 701億円（2026年3月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場/名古屋証券取引所 プレミア市場

本 社 所 在 地 名古屋市瑞穂区須田町2番56号

## HPのご案内

### コーポレートサイト

当社の企業情報や  
製品情報などを  
詳しく紹介しています。

[https://www.ngk.co.jp/ ▶](https://www.ngk.co.jp/)

### NGKの解決テクノロジー

社会が抱える旬な課題と、それを解決する  
NGKの技術を、科学技術ジャーナリストが  
わかりやすく解説しています。

[https://www.ngk.co.jp/kaiketsu/ ▶](https://www.ngk.co.jp/kaiketsu/)

### 個人投資家のみなさまへ

IR情報など、個人投資家のみなさまへ向けたコンテンツをご用意しています。

[https://www.ngk.co.jp/ir/individual/ ▶](https://www.ngk.co.jp/ir/individual/)

株主のみなさまの  
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記へアクセスいただき、  
アンケートサイトにてご回答ください。

[アンケート回答はこちら ▶](#)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp